玖波中だより

No.10

大竹市立玖波中学校　令和５年１０月１６日

学校教育目標「自他を大切にし，主体的に考え行動できる生徒の育成」

発行責任者　小田　大介　　文責　藤川　健二

４年ぶりに復活した「職場体験学習」

８月23日（水）～25日（金）の3日間，大竹市内の中学校では4年ぶりに職場体験学習（キャリア・スタート・ウイーク）が行われました。この数年間，新型コロナウイルス感染症の影響で中止していましたが，今年度からそれぞれの事業所ご理解とご協力があり実施することができました。

玖波中は，12の事業所で職場体験をさせていただきました。生徒は人生で初めて「働くこと」を，身をもって体験しました。実際に「働くこと」を通して貴重な学びがあったようです。

９月29日には，「職場体験学習発表」を行い，2年生は職場体験で学んだことを事業所ごとにプレゼンしました。どの発表もしっかり準備していて聴きごたえがありました。今回の職場体験学習を通して，「何のために働くのか」「なぜ，働くのか」など，働くことの意義を考えるきっかけになればと思います。

ご協力いただいた１２事業所の皆様　ありがとうございました！

①玖波公民館
②株式会社　小城六右衛門商店
③くば漁港協同組合
④玖波保育所
⑤独立行政法人国立病院機構　広島西医療センター
⑥ゆうあいホーム　デイサービスセンター
⑦中国電力ネットワーク（株）廿日市ネットワークセンター
⑧有限会社　さかもと家電
⑨セブンイレブン大竹インター店
⑩株式会社　なか川
⑪大竹消防本部
⑫大竹市役所総務課　　（順不同）

職場体験学習の様子

職場体験学習発表会

【2年生・職場体験発表会後の感想】

〇全ての発表を聞いて，働くことはどの仕事でも大変だということが分かりました。けれど，仕事はやりがいがあるので続けることもできるということも知りました。どの仕事もコミュニケーションが必要だと思うので，コミュニケーションをとっていきたいです。今回の経験を生かしていきたいです。

〇ゆうあいホームの門田さんと本山さんのアドバイスのところで，マイクなしで大きな声で言っていたところが参考になりました。「働くということ」は，みんな（誰か）のために仕事をするものだと思いました。そして敬意などがあると思いました。

〇それぞれの仕事によって働く内容は全然違ったけど，学んだことはどれも似ていると思いました。接客業にしても製造業にしても，人々との関わりはあるから，挨拶や返事，コミュニケーションは大切だと分かりました。プレゼンでのまとめ方も，文字をあまり使っていないグループの方が伝わりやすいと思いました。

〇どのグループも工夫がされてあるスライドで，クイズや写真・絵などを交えた発表でとても楽しく学ぶことが出来ました。それぞれの事業所で3日間体験したことや学んだこと，成長したこと，アドバイスなどが異なっていて，とても面白かったです。今回の発表会を終えて，「働く」ということは，大変なことがあるけど，その分，やりがいや嬉しさ，楽しさがあるということを改めて学ぶことができました。

【職場体験学習発表会を聴いた1年生の感想】

〇誰かのために働くことの大切さや，自分の仕事責任を持ち，目標を成し遂げることで，誰かの幸せにつながることを学ぶことができました。

〇全てのグループで仕事内容や体験を通して，やりがい，質問の答えなどをパワーポイントに分かりやすくまとめてあり，来年の職場体験が楽しみになりました。クイズもあって楽しみながら学びことができて良かったです。来年はアドバイスでもあった「積極的に動く」「元気よく挨拶をする」「人の話をよく聞く」などのことが体験で生かせるように，これからの生活を意識していきたいです。

〇2年生の職場体験の発表を聞いて，「働く」というのは，「笑顔」「挨拶」「コミュニケーション」を大切にして日頃の生活に意識して取り入れてみようと思いました。